

南房総市津波ハザードマップ

丸山地区



津波ハザードマップについて

津波ハザードマップとは、津波災害時における被害を最小限度に食い止めることを目的として、予想される災害の程度や対応方法を図面等に表示するとともに、浸水情報、避難情報等の各種情報をわかりやすく図面等に表示して、緊急時の避難に役立てようとするものです。

千葉県では、過去に県内で被害の大きかった延宝地震（1677年、マグニチュード8.0）と元禄地震（1703年、マグニチュード8.2）を想定して津波シミュレーションを行っています。

本図の津波浸水情報は、浸水区域、浸水深ともに大きかった元禄地震津波のうち、地震によって津波防災施設（海岸保全施設、河川堤防など）が破壊され、その機能が失われたと想定したケースのシミュレーション結果を表示しています。

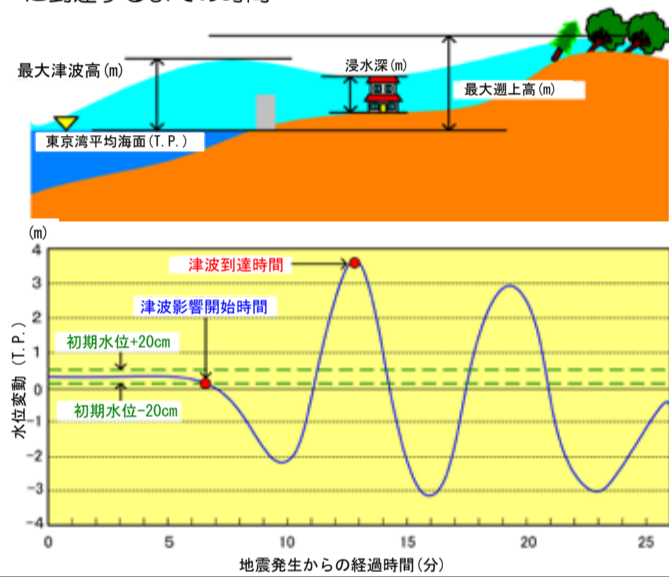
津波情報（警報・注意報）について

地震による津波の恐れがある場合、想定される津波の規模に応じて「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」が発表されることがあります。通常、地震情報とあわせて伝えられます。

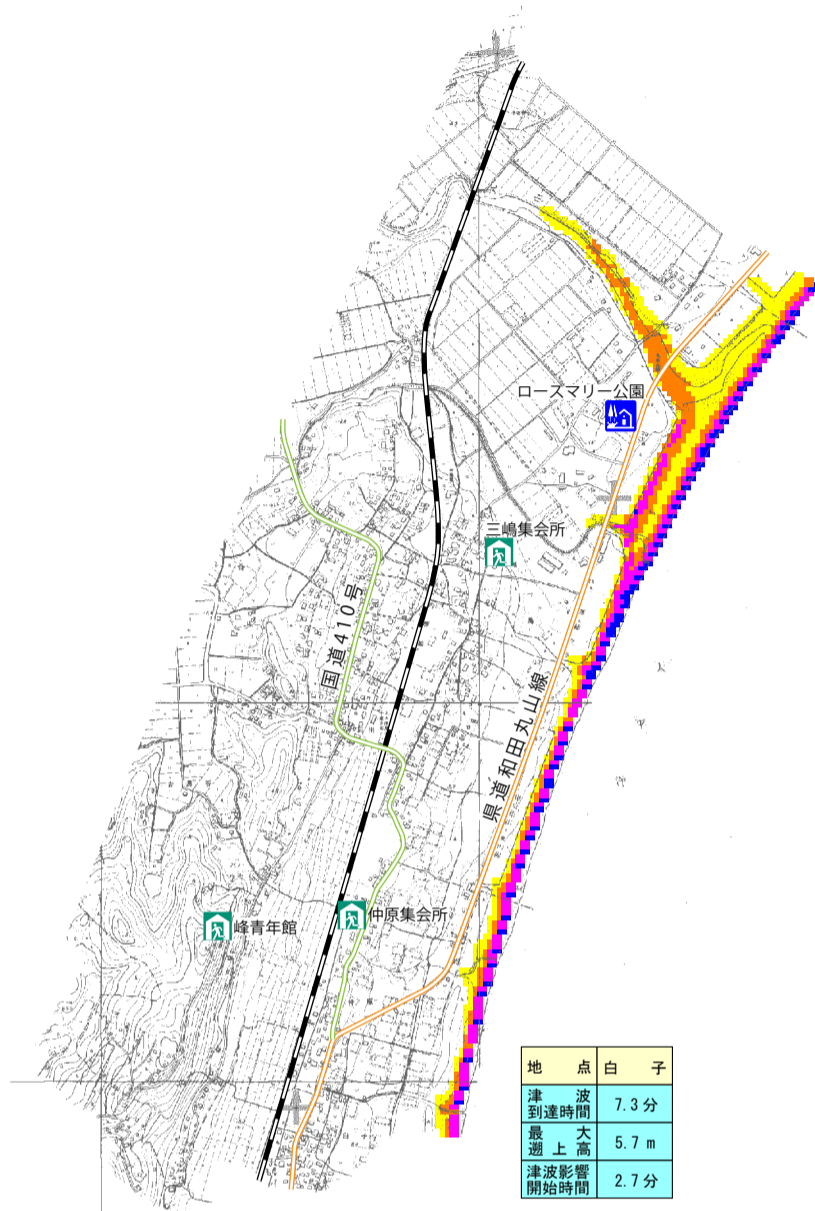
詳しくは <http://www.jma.go.jp/jp/tsunami/>

津波に関する用語の説明

- ・最大遡上高は、各地区で津波が到達する最高の標高
- ・最大津波高は、各地区の沖合いにおける最も高い標高
- ・津波浸水深は、各地の地表面からの水面の高さ
- ・津波影響開始時間は、地震発生から海岸・海中の人命、漁船等に影響が出る恐れのある津波による水位変化（初期水位±20cm）が生じるまでの時間
- ・津波到達時間は、地震発生から津波第一波のピークが海岸に到達するまでの時間

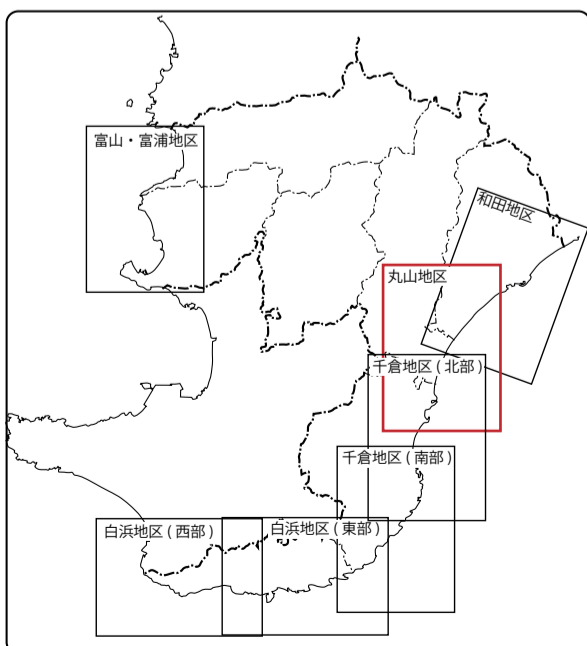


資料出所：平成17年度津波対策・シミュレーション業務報告書（千葉県県土整備部河川環境課）



津波から身を守るために

- 1 津波が海を伝わる速さは、海岸近くになっても大人が走るよりも早く、津波が見えてからでは逃げ切れません。
- 2 津波から逃れるためにすばやく高台や高い建物に避難しましょう。
- 3 津波の高さは、海岸の地形などの影響を大きく受けます。特に河川沿いなどは高くなりやすく危険です。
- 4 津波は2回3回と繰り返し襲ってきます。しかも、第一波の高さが最大とは限りません。
- 5 津波は高さ50cm程度のものでも立っていられない可能性があり、流されてしまうこともあります。
- 6 近所の人と協力しながら、避難所まで徒歩で避難しましょう。自動車での避難はやめましょう。



凡 例		
避難施設	避難所(場所)	
	広域避難所	
	津波避難ビル	
関連施設	消防署・分遣所	
	警察署・駐在所	
	臨時ヘリポート 道の駅	
主要道路		
緊急輸送道路(1次)		
緊急輸送道路(2次)		
主な市内の災害時連絡道路		

元禄地震津波で想定される浸水深 (ランク区分)

	0 ~ 1m
	1 ~ 2m
	2 ~ 3m
	3 ~ 4m
	4 ~ 5m
	5 ~ 6m
	6m以上

0 200 500 1000 2000m